

2006年11月22日

独立行政法人 情報処理推進機構

「第5回北東アジア OSS 推進フォーラム in 福岡」を開催

独立行政法人 情報処理推進機構（略称：IPA、理事長：藤原武平太）及び日本 OSS 推進フォーラム（代表幹事 日立製作所特別顧問 桑原洋）は、オープンソースソフトウェア（OSS）の活用を促進するため、「第5回北東アジア OSS 推進フォーラム」を、2006年11月21日（火）～22日（水）の2日間にわたり福岡県福岡市において開催しました。日本・中国・韓国の産業界、研究機関、大学、政府関係者など300名近くの参加がありました。

北東アジア OSS 推進フォーラムは、日本 OSS 推進フォーラム、中国 OSS 推進連盟、韓国 OSS 推進フォーラムが協調し、各国における OSS の普及・発展に向けた活動を行っています。本会合では、基調講演、ワーキンググループ（WG）¹の活動報告、今後の活動の方向性・予定及び各国の OSS 推進フォーラムの活動状況、OSS 関連の最新事例の紹介等が行われました。

第5回北東アジア OSS 推進フォーラムでは、日中韓のフォーラム参加者が各 WG から報告された成果と今後の計画に基づき、次の点を確認しました。

- ・ 日中韓の協力関係とその精神は、フォーラム開始以来、着実に強化されてきており、価値のある成果を実現し始めていること。
- ・ 各国の相互利益のために、多くの成果を生み出すよう、各 WG における協力を奨励し、これを強化する。

3つのWGからの報告及び主な合意点は、以下のとおりです：

I. WG1：技術開発・評価

(1)サーバ・サブワーキンググループ（SWG）

- ・ 以下の3つのプロジェクトを協力して実施することに合意。
 - (i) サーバリソース管理ツールプロジェクト
Linux システム向け分散リソース管理技術・環境をオープンスタンダードに基づき開発する。
 - (ii) Linux カーネル互換性テストツールプロジェクト
Linux カーネルの新旧バージョン間の互換性をテストするツールを開発する。
 - (iii) データベース管理システムの性能評価プロジェクト
MySQL と PostgreSQL の性能・信頼性の評価データを共有する。
- ・ セキュリティ・ポリシーの柔軟性を支える SEEN(SECurity ENTity relation based access control) モデルについての議論を継続することに合意。

(2)デスクトップ・サブワーキンググループ

- ・ 協調的な開発である次のプロジェクトとタスクフォースを立ち上げることに合意。
 - (i) OSS デスクトップ Linux 導入促進ロードマッププロジェクト
各国の調査結果に基づいて、OSS デスクトップの導入を阻害している課題を抽出し、解決策を見つけ、それに対応する各国の活動項目を決定する。ロードマップの草案第1版を2007年1月31日までに完成させ、継続的に更新する。
 - (ii) 専用端末向け Linux デスクトップ調査タスクフォース
専用端末向け Linux デスクトップの普及を加速する機会を調査する。少なくとも3種類の専用端末向け Linux デスクトップの候補を、次の成果として決定する。
- ・ 中国と韓国は「RPLinux」及び「Booyo」の仕様に基づいて Linux デスクトップの参照用基盤を共同で開発し、日本はその結果を評価することに合意。

II.WG2：人材育成

- ・ WG2 は、共同で OSS のモデルカリキュラムとコースウェアを段階的に実現する。WG2 は、最初の報告書「北東アジア OSS 人材育成カリキュラム(第1版)」と、各国におけるパイロットプログラムの実施結果とを、次回会合までに発表する。
- ・ 上記の実施のため、WG2 はコース選択の手続きを定める。選択されたコースについて、以下の関連文書類等を開発する。
 - － カリキュラムと教育内容（シラバス）
 - － 教材
 - － 評価

III.WG3：標準化・認証研究

- ・ WG3 は、入カメソッドエンジンのインタフェースに求められる機能について合意済みであり、2006 年末までにその仕様書の草案第1版を作成する。
- ・ ワールドワイドウェブ（WWW）の相互運用性の研究を行うための SWG2（サブワーキンググループ2）を設置した。SWG2 は、2007 年第一四半期中に技術報告書草案第1版を作成する。

次回の第6回北東アジア OSS 推進フォーラムは、韓国で行うことが合意され、時期と場所については韓国より報告されることとなっています。

ⁱ 第3回会合(2004年12月)より、3つのワーキンググループ（WG）、「技術開発・評価（WG1）」、「人材育成（WG2）」、「標準化・認証研究（WG3）」が設置され、各WGにおいて、専門的な議論を行ってきています。

(参考)

北東アジア OSS 推進フォーラムは、2004 年 4 月に北京で第 1 回フォーラムを開催し、今回は第 5 回目の開催に当たります。日本での開催は、2004 年 7 月に札幌で開催された第 2 回フォーラムに続くもので、これまでの経緯は、以下のとおりです。

第 1 回	北京 (中国)	2004 年 4 月	・ OSS の普及・発展に向けて協力してゆくことに合意
第 2 回	札幌 (日本)	2004 年 7 月	・ 共同の取り組みをテーマ毎に検討するためのワーキンググループ (技術開発・評価、人材育成、標準化・認証研究の 3 つの WG) の設置に合意
第 3 回	ソウル (韓国)	2004 年 12 月	・ 各 WG の具体的な活動内容に合意
第 4 回	天津 (中国)	2006 年 4 月	・ 各WGへの支援、協力関係の強化と、日中韓および全世界の OSS へのさらなる貢献の必要性について合意 ・ <u>技術開発・評価 WG</u> サーバーとデスクトップの共同検討を行うサブワーキンググループの設立 ・ <u>人材育成 WG</u> OSS 技術者のスキル認定、教育カリキュラムの検討を行うタスクフォースの設立 ・ <u>標準化・認証研究 WG</u> 多言語文字入力システムの標準化、WEB の相互運用性等の検討課題の重点化

以上

■ 本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 オープンソースソフトウェア・センター 杉原井／堀江
Tel : 03-5978-7507 Fax:03-5978-7517 E-mail : ossc-info@ipa.go.jp

■ 報道関係からのお問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 戦略企画部広報グループ 横山／佐々木
Tel : 03-5978-7503 Fax:03-5978-7510 E-mail : ipa-pr@ipa.go.jp